

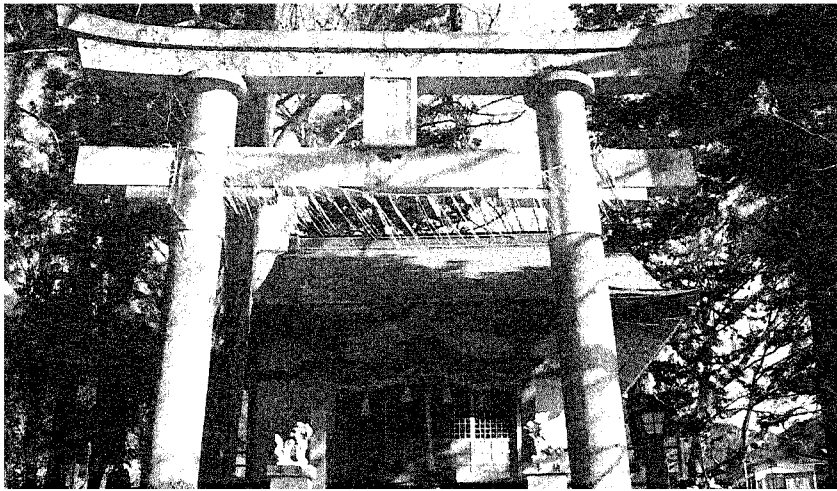
都留市地名考

その16

窪田 薫

○朝日村と石船神社

文禄年間(一五九二―一五九五)頃までは、朝日曾雌、朝日馬場、朝日小沢などの集落は、朝日村(朝日郷)に含まれる一村であった。人の生活に欠くことのできない光と熱の源である太陽の神秘感、聖体観に対し、日本人も縄文の昔から太陽を崇拝してきた。



石 船 神 社

昇る朝日に良き一日であることを願い、没する夕日に一日の無事を感じ、合掌遥拝する太陽信仰は現在にまで及んでいる。朝日のつく地名には、「朝日さし、夕日輝くその下に、漆千杯黄金万杯」と歌われる伝説があるが、朝日曾雌の太平の薬師堂に古文書があり、現在の富士急行の禾生駅付近「ダイドウ」という所に、黄金の剣が埋めたと伝えられている。また環状列石も太陽崇拝の遺構とみならず説があるが、朝日馬場の尾咲原遺跡から、縄文後期から晩期にかけての環状列石らしき遺構が出土している。太陽が真東から出て真西に入る(春分・秋分)、東西線上に、石船神社(高川山)、生出神社(生出山)、赤石春日神社(中津森)、熱田神社(下大幡)、船形春日神社(上大幡)があり、みな太陽(天照神)と関係ある神体山と神社である。

朝日馬場に祀る石船神社の祭神は表・中・底の筒男の三神で、大阪市住吉町の住吉大社より勧請された。神官は大社に代々奉仕する津守氏で、大阪湾の船泊のことも掌ったという。尾張の熱田神宮に代々奉仕した神官尾張氏は、天火明命を同祖とする津守氏と同族で、天照神(日神)を祀る海人族である。熱田神宮の大宮司昌能は、南朝に対し一貫して忠節を尽したが、津守氏と石船神社、尾張氏と護良親王との関係について知ることができよう。石船神社が高根山に建てられた年代は延元二年(一二三三)と伝えられているが、はるかに古い年代に、高根山に日神にかかわる祭祀場がつくられ、「朝日」の地名も、そこから起ったものと考えられる。

ふるさとの



5月

5日	石船神社例祭	朝日馬場
9日	端午の節句	市内各地
13日	花まつり	耕雲院
16日	儀秀稲荷大祭	西涼寺
28日	観音さま例祭	長安寺
	つる子どもまつり	
	都留文科大学	
	信行寺	
	鬼子母神祭	

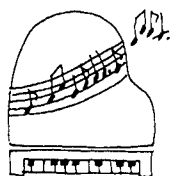
都留文科大学

公募のお知らせ

市民愛唱歌と第2回増田誠大賞の公募をします。市民愛唱歌は作詞の公募をし、補作を阿久悠氏、作曲は小林亜星氏に依頼します。

第2回増田誠大賞は、一般の部、高校生の部、中学生の部、小学生の部にわけ、絵画の公募をします。詳細につきましては、要綱が出来上がり次第広報でご案内しますので、ふるってご応募ください。

市教育委員会
社会教育課



ふるさとの宝を訪ねて 高川山探検隊

四月から十一月までの毎月第二土曜日(学校五日制実施日)に、ふるさとの宝を訪ねる「ふるさと探検隊」を開催します。今回は、「高川山」を中心としたコースです。
期 日 5月8日(土)
(雨天中止)



ふるさとのTAKARA

高川山

『山と溪谷』平成5年1月号に「読者が選んだ新・百名山」に新・百名山として高川山が選ばれました。高川山には、福寿草の群生地、お坊石や弁慶石などに伝説に富む巨石など見どころが多く、また、山頂からは富士山から道志・奥多摩・奥秩父・丹沢と360度の展望がほんとうにすばらしい。